

相模原市の障害者施設殺傷事件で、植松聖容疑者が衆院議長に宛てた手紙の詳細は次の通り。

衆議院議長大島理森様

この手紙を手にとったいただき本当にありがとうございます。

私は障害者総勢四百七十人を抹殺することができません。

常軌を逸する発言であることは重々理解しております。しかし、保護者の疲れきった表情、施設で働いている職員の生気の欠けた瞳、日本国と世界のためと思い、居ても立ってもいられずに本日の行動に移した次第であります。

理由は世界経済の活性化、本格的な第三次世界大戦を未然に防ぐことができるかもしれないと考えたからです。

植松容疑者、衆院議長への手紙

私の目標は重複障害者の方が家庭内での生活、および社会的活動が極めて困難な場合、保護者の同意を得て安楽死できる世界です。

(中略)

今こそ革命を行い、全人類のために必要不可欠であるつらい決断をする時だと考えます。日本国が大きな第一歩を踏み出すのです。

世界を担う大島理森様のお力で世界をより良い方向に進めていただけたいでしょうか。ぜひ、安倍晋三様のお耳に伝えていただければと思います。

私が人類のためにできることを真剣に考えた答えでございます。

衆議院議長大島理森様、どうか愛する日本国、全人類のためにお力添えいただけたいでしょうか。なにとぞよろしくお願い致します。

文責 植松 聖

(「植松聖の実態」と題し

た一枚紙の内容は略)

作戦内容

職員が少ない夜勤に決行致します。

します。

重複障害者が多く在籍している二つの園(津久井やまゆり、別の園(原文は実名)を標的とします。

見守り職員は結束バンドで身動き、外部との連絡をとれなくします。

職員は絶対に傷つけず、速やかに作戦を実行します。

二つの園二百六十人を抹殺した後は自首します。

作戦を実行するに私からはいくつかがご要望がございます。

逮捕後の監禁は最長で二年までとし、その後は自由な人生を送らせてください。心神喪失による無罪。

新しい名前(伊黒崇)本

籍、運転免許証等の生活に必要な書類。

美容整形による一般社会への擬態。

金銭的支援五億円。

これらを確約していただければと考えております。

ご決断いただければ、いつでも作戦を実行致します。

日本国と世界平和のために、なにとぞよろしくお願い致します。

想像を絶する激務の中大変

恐縮ではございますが、安倍晋三様に相談いただけることを切に願っております。

植松聖

(住所、電話番号(略)

かながわ共同会職員

お断り 相模原の障害者施設殺傷事件で、容疑者が衆院議長に宛てた手紙は一方的な内容も含まれていますが、事件や動機の解明に関わると判断し、報じました。